



備えあれば憂いなし 老後の安心

「農業者年金」

農業者年金は、農業者がより豊かな老後を過ごすことができるよう国民年金に上乘せするための公的年金です。

次の3つの要件を満たす農業者なら、どなたでも加入できます。

《加入要件》

- 年間60日以上農業に従事
- 20歳以上60歳未満の方
- 国民年金第1号被保険者(免除者を除く)

《農業者年金の特徴》

- 確定拠出型年金で積み立てた保険料と、その運用益により年金額が決まる積み立て方式です。
- 2万円から6万7千円までの範囲の千円単位で、自分で保険料月額を設定できます。また、途中で月額を変更することも可能です。
- 任意脱退が可能です(脱退一時金の支給はありません)。
- 要件により、国から保険料の一部に助成(政策支援)が受けられます。
- 農業者年金は基礎年金の上乗せ年金という性格から、国民年金の付加年金(月額400円)への加入も必須となります。

お問い合わせ

農業委員会事務局 農政振興係
0246(22)7534



編集委員

渡邊 和夫 佐川良平 飯高 敬一
荒川 光弘 草野 城太郎
(編集委員長) (副委員長)

(執筆) 荒川 光弘委員

「安全な作物です」と伝えながら消費者の皆様にお届けすることで、風評被害も無くなり、希望の持てる農業が続けられることを信じています。
農家の皆さん、頑張りましょう!



震災・原発事故に負けず地域おこしに取り組み

東日本大震災及び原発事故による

避難、転居、風評被害等があり今後の村おこしには課題が多いところでありま

す。中山間地域である田人町貝泊地区では、人口減少により過疎化が進む状況から脱するため、平成14年2月に村おこし団体として、「貝泊コイコイ倶楽部」を設立し、地域の豊かな自然を生かし、グリーンツーリズムを通じた交流人口の拡大を図り、地域への定住促進、地域活性化に実績をあげております。

具体的 な事業としては、平成14年9月に直売所「山ぼうしの家」を建設し地元農産物を販売、交流を図ってきましたが、生産者の高齢化・高齢世帯化などにより遊休農地が拡大し、毎週日曜日に販売する農産物が少ない状況であるとのこと

であります。また、貝泊集落を通じて中山間地域等直接支払制度を活用し、平成18年11月に「山ぼうし加工所」、平成21年11月に「豆腐工房」を建設しましたが、貝泊地区独自のブランド商品の開発が難しいなか、豆腐工房については、地元産大豆を1

00%使用した豆腐がヒット商品となつているとのこと。紹介した3つの施設は、震災及び原発事故による風評被害などで深刻な打撃を受けており、定住した家族のうち5家族20人が避難されたりしている悪条件の中で、今後は次の活動に邁進するということ。豆

腐は地元産大豆を使用し、パッケージの改良や販路拡大を工夫し大豆増産と売上げ増をねらう。地域住民の意識改革と知恵を結集し「貝泊地区特有の加工品」を開発する。

地区全体が高齢化しているうえ、風評被害等で大変なことと思えますが、「ふるさとを守る」ため、これからの活動に期待するとともに、応援していきたいと思

います。○自家消費農作物を作る住民を増やすことで、遊休農地解消と生産量の増加をめざす。

○風評被害等に対する地域住民の活動をPRし、売上げ増につなげる。

昨年3月11日以降は、目には見えない放射能汚染に心配しながら収穫作業に取り組んで参りましたが、県や市の関係機関の話聞きますと、数値を見た結果「いわきの農産物は心配ない」とのことなので、私も農業者の1人として、自分で生産した野菜、米等に自信を持てるようになりました。

さて、暑い夏も過ぎ、皆様のお手元に農業委員会だより157号が届く頃は、農家にとって一番楽しみな収穫の秋を迎えている事と思

編集後記

7月の改選により、私達編集委員も顔ぶれが変わりました。これから3年間、農業委員会だよりの発行に尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、暑い夏も過ぎ、皆様のお手元に農業委員会だより157号が届く頃は、農家にとつて一番楽しみな収穫の秋を迎えている事と思

